

2017年度 JCuLP Summer Session 参加者アンケート

2017年度に参加した学生からのアンケートの結果を掲載していますので、参考までにご覧ください。

<SOAS, University of London>

●授業について（授業内容・授業レベル・クラスメイト構成・課外活動など）

- ・授業では自分の興味のある分野を選択して集中することが出来たので、とても実践的でした。
- ・語学ではなく科目の授業を選択したので授業内容は少し難しめでしたが、サポートがしっかりしており、問題なく学習できました。課外授業も多く、美術館・博物館を訪れたり、街の史跡を巡ったりと興味深いものでした。クラスの90%以上はアジア系で、その半数ほどが日本人でした。教員の方々はとても親切で、トラブルの際も親身に対応していただきました。
- ・授業内容、課外活動並びに大変充実しておりましたし、レベルも、英語圏の学生も楽しんで取り組める位の少し高いレベルで大変刺激的でしたので、概ね満足しております。ただ、授業の種類によってはクラスメイトの殆どが日本人学生であったり、極端に少人数制であったりと、人脈の輪を広げるといって考えると少し物足りないと感じる点もございました。
- ・授業は英語を学ぶのではなく、英語で様々な科目を学べる点が面白かった。ディスカッションも多く、授業レベルも丁度良かった。課外活動も授業中に大英博物館を訪れたり、グローブシアターに行く機会などもあり、とても充実した授業を楽しむことができた。
- ・クラスはおよそ15人で8割は日本人。クラスの英語のレベルはそこまでは難しくはなかったが、ディスカッションなどで周りのクラスメイトの知識の豊富さのあまりついていけない部分があった。授業内容が専門的な部分もあり、分からないこともたくさんあったが新しい知識を身につけることができたので良かった。休み時間はクラスメイトと食べる時もあったが、ほとんど日本人同士で固まっていた。
- ・私は Global Business Studies と Introduction to Media を取ったので、語学留学と言うよりは、ビジネスとメディアについて深く学ぶことができました。授業レベルは海外で受ける普通の英語での講義に近いと思います。クラスメイトも世界各国からの人が多く、銀行員など科目に特化した職業の人などもいました。

●留学生活全般について（宿舎・気候・食事・治安・交通・携帯電話・Wi-fi・保険・サポートデスクの活用・余暇の過ごし方など）

- ※寮についてのコメントがありますが、2018年度から別の寮を採用しているため、環境は改善しております。
- ・盛夏でしたが気温は20度程度で、日本の秋頃のような気候でした。食事もまずいということもなく、地下鉄が発達しているので交通の不便もなく、過ごしやすい街でした。治安もそれほど悪いとは思いませんでした。週末にはロンドン市内を観光したり、格安航空やユーロスターを利用してヨーロッパを旅行したりもしました。
- ・気候は想像以上に寒く、防寒着が無かったことで留学開始間もない時期は困っていたメンバーも見受けられました。治安は比較的良かったですが、中心地では違法薬物が流通している様子を幾度か目の当たりにした他、浮浪者の方に度々お金を要求されたり、お土産屋では必要以上に購入を要求されることもあったので、気を付けた方が良く感じました。また、帰国後に馴染みもある駅で地下鉄デロがあり、大変恐ろしく感じました。ロケーション的には、キングスクロス駅が近かったことは大変有り難かったのですが、あまり治安は良くはありませんでした。食事は、以前ロンドンに住んでいた友人と一緒にいた為に問題なく過ごせましたが、現地にはどんなスーパーがあって、それぞれどんな特徴があるのか、初めて行く学生は知っておくべきだと思います。交通は殆どが無秩序でした。信号機は全く信用出来ず、乗り物の運転も荒いので、怖い思いをすることもありました。Wi-Fiは、完備されている施設が街中に沢山あった為に非常に救われる機会が多くありました。但し、やはり長期滞在するのであれば、Wi-Fiルーターは持ち歩くべきだと感じました。保険は入っていたことで、体調を崩した友人が非常に助けられたと言っていたので、入っておいて正解でした。ロンドンには名所がとても互いに近くにあり、とても充実した余暇を過ごすことが出来ました。
- ・気候は、よく知られているように雨の日が割と多いが、一日中降り続けている日は少ない。食事は可もなく不可もないが、おいしいピザ屋さんなどもあった。治安は、場所によっては悪め。WiFiはあまり飛んでいないため、モバイルWifiを持っていたほうが人と連絡を取りやすい。ロンドンには観光地が多く、徒歩圏内で行ける場所が多かった。交通の便も良いので、週末に日帰りでも遊びに行くこともできる。

- ・ 宿舎へのアクセスは良かったが、宿舎自体は部屋によって大きな差があった(私の部屋は比較的良かったです)。休日は近くに買い物に行ったり、友達と日帰り旅行などした。危険だと思ったため1人ではあまり遠出はしなかった。気候は夏なのに寒く、半袖では過ごせなかった。又、雨が続いていた。食事は朝、夜は基本的に自炊していたが、昼食は大学の近くのレストランやカフェ、学校の食堂などで食べていた。

- ・ ロンドンの中心地での生活だったので、食事や、交通などには困りませんでした。寮が少し古く、洗濯機やキッチンがよく故障を起こしていました。Wi-fi は各部屋とキャンパス全体に通っているので問題はありませんでした。

●次年度の学生に伝えたいことをご記入ください

(留学先でできたこと、学んだこと、気を付けてほしいこと、準備しておくことよいことなど)

- ・ トラブルが起きて信頼できる友人たち以外は基本的に何もしてくれないので、困った時は自分でどうにかする覚悟はしておいたほうがいいと思います。

- ・ ロンドンには、多くの博物館、美術館に無料で入れた為に、多くの教養を身につけられました。寮に籠らず、たくさん経験を得ることをお勧めします。また、ほとんどの場所に徒歩で移動できるので、少しでも乗り物の利用に不安があれば徒歩で移動した方が良いでしょう。それに備え、どの地域は安全で、またどの地域は治安があまり良くないのか、しっかりと確実に把握しておくべきだと感じました。リッチモンドなどの郊外の地域はとても治安がよく、安心して休日を楽しめたので、お勧めします。授業はとても充実しているので、せっかくの機会を無駄にせず、沢山発言し、積極的に前向きに参加してください。

- ・ モバイル Wifi は持って行ったほうがいいと思う。日本ほど治安はよくないので、常にカバンや貴重品の管理は気を付けなければいけない。

- ・ イギリスに留学すると休日にヨーロッパを旅行できる利点がある。また、イギリスの夏は暑くないため暖かい格好で行くと良い。色々な国の人とコミュニケーションとすることで自分の知らない文化に触れることができた。また、他の国の言語を教えてもらったり貴重な経験ができた。

- ・ 語学の獲得を目的とした留学も良いと思いますが、せっかくなので自分の気になったトピックなどに挑戦してみるのもいい経験になると思います。

<University of Alberta>

●授業について (授業内容・授業レベル・クラスメイト構成・課外活動など)

- ・ Placement test を授業が始まる前に受けたのだが、その結果次第でクラスが振り分けられ、どんなにそのクラスが自分のレベルより下だとしても、またその事実が客観的に認められたとしても、クラスを変更することは不可能なので、placement test は真剣に取り組むべきである。

- ・ 英語のプレイズメントテストによってクラス編成があったが、慣れていないタイプのテストだったため出来が悪く、自分のレベルよりも低いレベルに配属されて物足りないところがあった。

- ・ クラスは16人いて日本以外にもメキシコ、リビア、中国などの国々から来ていた留学生と共に学んだ。

●留学生生活全般について (宿舎・気候・食事・治安・交通・携帯電話・Wi-fi・保険・サポートデスクの活用・余暇の過ごし方など)

- ・ ホストファミリーとの生活はとても楽しかったが、それぞれの費用 (airport pick-up が\$50 など) が少々高いように感じた。*airport pick-up に関しては、自分たちがバスを使えば\$5 で空港に行くことができる。

- ・ 気候は晴れが多く朝はだいたい13℃、昼は25℃くらいで涼しかった。

●次年度の学生に伝えたいことをご記入ください

(留学先でできたこと、学んだこと、気を付けてほしいこと、準備しておくことよいことなど)

- ・ カナダは(だけではないと思うが)想像以上に日本人が多く、また英語があまりできない日本人も多い。なので何のための summer session なのか考えて、その人たちとの関わり方や過ごし方には気を付けてほしい。

*日本人は集団で動く国民性があるので、その人たちとずっと一緒にいるかどうかは自分次第。

- ・ プレイズメントテストはまじめに受けよう!

<University of Auckland>

●授業について（授業内容・授業レベル・クラスメイト構成・課外活動など）

- ・一番上のクラスに入っていたが、生徒のレベルは低く、勉強せずに試験で一番いい成績を取れるほどだった。

●留学生活全般について（宿舎・気候・食事・治安・交通・携帯電話・Wi-fi・保険・サポートデスクの活用・余暇の過ごし方など）

- ・ホストファミリーの家から大学までバスで1時間かかり、往復で9ドル毎日かかることが理解できなかった。

●次年度の学生に伝えたいことをご記入ください

（留学先でできたこと、学んだこと、気を付けてほしいこと、準備しておくことなど）

- ・なし

<University of Brighton>

●授業について（授業内容・授業レベル・クラスメイト構成・課外活動など）

- ・授業内容は Academic English に特化したものでした。writing, listening, presentation, reading into writing, などの授業がございました。授業内容は大変やりがいがあり、これからの JCulP の授業でためになる事を多く教わりました。特に writing の授業は本格的に行いました。自分の調べるトピックをはじめに決め、2ヶ月間かけてイントロダクションの書き方から参考文献の正式な方法まで細かく教わりました。クラスは初めの5週間は5-6人のクラスで、5週間目から新しい生徒が加わり12人ほどになりました。クラスメイトはサウジアラビアやドイツ、中国、韓国など様々な国から来ていました。日本人の方も数名いらっしゃいましたが、日本人のみで固まる事はなく、常に色々な国の人々が混じって生活していました。金曜日の放課後には social program という field trip がありました。ブライトンの名所に連れて行ってもらったりし、自分では行きづらい所にも行きました。

- ・授業では、文法、文章の要約、ディスカッション、プレゼンテーション、エッセイなどを基礎から学び、次第に応用されていき、実践的な英語力を身につけることができましたと思います。文法や文章の要約といった授業は基礎的なものでしたが、英語で学ぶということが新鮮でした。また、エッセイの授業では、自分の専門分野からトピックを一つ決め、それに基づいて資料を集め、仕上げていきました。JCulP の春クォーターの授業で学んだことと重複している部分が少しあったため、エッセイの書き方への理解をより一層深めることができました。特にこの授業のレベルが、自分にちょうどよかったです。クラスは5~10人程の少人数クラスで、クラスメイトは全員インターナショナル生でした。皆積極的でフレンドリーで、お互いの国の文化を共有し、私は彼らからとても刺激を受けました。

●留学生活全般について（宿舎・気候・食事・治安・交通・携帯電話・Wi-fi・保険・サポートデスクの活用・余暇の過ごし方など）

- ・私は学校からバスで20分程、歩くと30分程の Varley Park という寮に住んでいました。寮は大変綺麗で、一人部屋でした。共同のキッチンとトイレシャワーが各階にありました。キッチンはフロアの人とご飯を一緒に作る事が多く、楽しい時間を過ごしました。夏期間のため、カフェテリアは使えません！そこは来る前に知らなかった事でもあるため、注意です。また、調味料やフライパン等は無いため、スーパー（ASDA というお店が寮の近くにあり）などで安いものを買うか、持ってきた方がいいです。同じフロアの子を見つけたら、共同のものとして購入できるので、現地で購入する事をお勧めします。金曜日などは寮に住んでいないクラスの子達も呼び、みんなでご飯を食べることもありました。ブライトン自体が治安がいいということもあり、寮の周りそして街も大変治安は良かった方だと思います。しかしやはり海外という事を常に頭に入れておき、自分の事は自分で守るという意識を忘れずに行動した方がいいです！私の寮は交通の便は良くも悪くも無いと思いました。やはりバスを使用しないとスーパーにも街にも出る事ができないため、自分の足で歩く事は少なかったです。しかし、バスの定期券を購入したため、ブライトンの端から端まで遊びに行く事ができました。マイナーな場所などに行くのも10週間いるからこそできる魅力ではないかと思います！携帯電話は早稲田大学で借りて行きました。私はiphoneにチップを入れて利用していました。個人的な見解ですが、携帯電話を借りるより、チップの方が良いと思います。Jculp から一緒に行ったもう一人の友達が携帯電話の機種が古く、使いづらいと言っていたためです。wifiは街に良く通っており、困る事はそこまで多くありませんでした。また、学校についてですが、先生方が常にサポートをしてくれる状況にあるため、授業内容には関係ない事も相談したりする事が出来ます。

- ・ホストファミリーは陽気で優しい方々で、楽しいホームステイ生活を送ることができました。ホストマザーは私の食の好みを聞き、食事を用意して下さいました。リビングで話したり、ホストファミリーの友人の誕生日会に行ったり、ホストマザーが私のためにパーティーを開いてくれたりと、家族の一員として接して下さいました。一方で、ブライトンの治安は良く、住みやすい街でした。また、ホストファミリーやクラスメイトと連絡をとるために、携帯は頻繁に使っていました。ブライトンでは、free Wi-fiを提供してくれる場所が多かったため、Wi-fiがなくて困る、ということはありませんでした。課題が終わった休みの日には、ロンドン、バース、カンタベリーなどを観光したり、ブライトンの町を散策したりと、イギリス生活を満喫しました。

●次年度の学生に伝えたいことをご記入ください

(留学先でできたこと、学んだこと、気を付けてほしいこと、準備しておくことよいことなど)

- ・本当にブライトン大学はおすすめします！言葉では表せないくらい大変充実した楽しい時間を過ごす事が出来ました。一年間私はアメリカに留学しましたが、それに匹敵する程10週間は濃いものとなりました。一緒に留学した jculp の友達と、未だに「ブライトン行きたいね」「〇〇懐かしいね」という会話をするくらい、私にとってかけがえのない時間を過ごしました。楽しいだけでなく、宿題もしっかり出してくださり、留学の本来の意味を果たす事が出来たのではないかと思います。もしブライトン大学に興味がある方がいらっしゃいましたら、いつでもお話しさせていただきます！充実した留学生活をお過ごしください！
- ・今回の Summer Session で、英語の基礎から応用まで実際に英語で学ぶことで、知識を身につけるだけでなく、改めて英語の面白さを実感することができました。Summer Session で学んだことの中で、特にエッセイの書き方は、今後の授業でも役に立つので、より良いエッセイが書けるようにこの経験を活かしていきたいです。また、インターナショナル生と交流を深めることで、自らの視野を広げることができました。交流を通して感じたことは、自分の予想以上に、様々な国の方が日本文化に興味を持っているということです。外国人の方までもが興味を持つ日本文化ですので、ますます私もこの奥深い文化の魅力を探していきたいと、強く思うようになりました。これからも、日本人でも日本人でなくても様々な人と交流し、常に周囲に興味を持ち続けられる人でありたいと思います。
- ・ブライトンでの10週間は、楽しく充実していて、帰国したことが信じられないくらいあっという間でした。ブライトン大学では、実践的な英語力を身につけることだけでなく、様々な国籍を持つクラスメイトと共に互いの文化を共有し、日本文化や国際社会への興味をより一層深めることができました。また、勉強や生活のことで困ったことがあれば、先生やスタッフの方々に相談することができる上、大学の学習環境も整っており、勉強に集中することができました。短期間ではありましたが、ブライトン大学で学ぶことができ、本当によかったです。通学に関してですが、キャンパス内の寮生以外は、バスの定期を買っていました。私の場合、通学だけでなく、町に出かけたり、少し遠出する時にいつもこの定期が役に立っていました。ブライトンだけでなく、各国に行かれる皆さんが充実した Summer Session を送ることができるよう祈っています。

<University of California, Berkeley >

●授業について（授業内容・授業レベル・クラスメイト構成・課外活動など）

- ・今回私がとった授業は"English through Film"と"Culture, Communication and Media"でした。事前にバークレーの授業は他の大学と比べて課題が多く、授業内容も難しいとお聞きしていましたが、それほど大変になるほど宿題は出ませんでした。"Culture, Communication and Media"の先生はとても政治に関心がある方で、トランプ大統領の反対運動にも参加しているという方でした。授業の主な内容は Fake News や Cultural Differences など幅広い内容をディスカッションしました。宿題は次のトピックの記事を読むなどあまり難しい物ではありませんでしたが、文章の内容や Vocabulary は私には少々難しく感じました。生徒のほとんどがアジア人で、あまり英語を得意としない人も何人かいました。次に"English through Film"の授業では映画を通して英語やアメリカ文化を学ぶというのが主な目的でした。見た映画はネイティブアメリカンや、アメリカのある地域を題材とした物が多く、アメリカ文化の勉強にもなりました。授業は"Culture, Communication and Media"と比べて優しく、この二つの授業で良いバランスがとれたと思っています。こちらの授業もアジア人がほとんどで、中には高校生もいました。
- ・レベルはちょうどよく、楽しかった。クラスはアジア系が多く、何人かアメリカ人がいた。日本人は少数だった。課外活動でグーグルの本社に行けたのは良かった。
- ・いわれていたより授業のレベルは高くなく、もう一つクラスを取ることもできたと思う。
- ・授業は1日1コマを週4日、金曜日はフィールドワークだった。ほとんどの生徒がアジアからの留学生だった。フィールドワークでは Google の本社に行ったりメジャーリーグを観たりなど、アメリカの文化や歴史に触れられる良い機会となった。

●留学生活全般について（宿舎・気候・食事・治安・交通・携帯電話・Wi-fi・保険・サポートデスクの活用・余暇の過ごし方など）

- ・私が滞在した寮は、International House で独り部屋でした。鍵もオートロックだったので、安心して過ごせました。Wifi も寮、大学とともにあったので、データがなくても苦労しませんでした。町でも、ショッピングセンターなどで Wifi が日本より普及しているので、外でも連絡を取ることが出来ました。気候は朝夜がとても涼しく、日中は日差しが強い日が多かったです。すぐ近くが山なので、たまに霧がかっていたり、他の場所と天候が異なることもありました。交通面では、大学の ID を作成した時一緒に無料でバスに乗れるカードももらえました。ですので、International House から駅からは徒歩30分ほどかかるのですが、バスを使えば10分ほどでいけました。ですが、バスが来る時間は日本ほど正確ではありませんでした。電車は少し危ないと大学の先生から言われていたので、な

るべく1人では乗らないようにしました。実際危ない場面に遭遇することはありませんでしたが、あまり遅くまで外出しない方が良いと思います。夜には大学付近に警察が常について、寮からも銃声なのか爆竹なのか分からない音がしょっちゅう聞こえました。実際留学中寮から数ブロック先で殺人事件も起こりました。日中大学付近にはホームレスが沢山います。無視して通り過ぎれば何の問題も無いのですが、ホームレスが沢山いるのはあまりいい気分ではありませんでした。週末は同じく JCuIP から留学した人たちと観光をしました。バスや電車を使ってゴールデンゲートブリッジや、サンフランシスコ、海もいけました。寮の方でも様々なアクティビティを用意してくれていて、ヨセミテ国立公園などにもいけました。なので、毎週退屈せずに楽しむことが出来ました。

- ・ 宿舎は良かった。気候最高。治安悪め。交通は便利。暇なときはサンフランシスコを観光してました。
- ・ 宿舎はとてもよかった。夜になると周りの治安は悪かったため、外に出ないようにした。
- ・ バークレーの気候は思ったより涼しくて朝夕は寒いくらいだった。International House という留学生寮のシングルルームに泊まり、食事はミールポイントを使って基本的に朝と夜ブュッフェ形式だった。外にも、様々な国のレストランがあり、食事に関しては充実していたと思う。キャンパスも寮も WiFi が繋がったので十分だった。バークレーは学生街なのでそこまで治安は悪くなかったが夜の地下鉄の駅などはホームレスの人が多くいた。BART という地下鉄がサンフランシスコまで出ているのでそれを使って週末は出かけた。特に危ない目には合わなかったが、出かけ先などで携帯が使えないため、道には何度か迷って苦労した。

● 次年度の学生に伝えたいことをご記入ください

(留学先でできたこと、学んだこと、気を付けてほしいこと、準備しておくことよいことなど)

- ・ 留学をしたからと言って、必ずしも英語が上達するわけではありません。一緒に留学する人たちと仲良くするのも良いですが、自分から他の人たちに話しかけて英語を話す機会を増やしてください。
- ・ バークレーは楽しく、とてもオススメです。朝は肌寒いので軽めの防寒着を用意すると良いでしょう。
- ・ サマーセッション自体はとても楽しいです。しかし、手続きや単位の話などを事細かく質問し、食い違いがないようにするべきです。
- ・ 寒くてトレーナーを二枚購入した。また近くのターゲットで枕などを買おうとしてもすぐ売り切れてしまったのでできれば持ってくる。

<University of Queensland>

● 授業について (授業内容・授業レベル・クラスメイト構成・課外活動など)

- ・ 授業のレベルは、低すぎるというわけではなかったけれど、EAP の授業は IELTS を受けるための塾のような授業で、日本でもできるような気がしました。だとしたら、もっと留学に行ったからこそできる現地の大学の本当の授業を受けた方が刺激になると思いました。下のレベルの General English は 1-6 までレベルがあり、特にレベル 4、5 などは半分もしくは半分以上が日本人というクラスがほとんどでした。私はレベル 6 にいましたが、日本人は私を含めて 2 人。宇宙、科学、数学や文化、社会問題など様々なトピックを週ごとに分けて学習していくというスタイルで、他の JCuIP で EAP のクラスを取っていた人たちと英語のレベルは変わらず、さまざまなことを学べたのでよかったと考えています。
- ・ クラスは絶対 EAP2, もしくは EAP1 をとるべきです。なぜなら、それより下のクラスには他大学の日本人留学生がたくさんいて、その子達と仲良くなり英語を全く使わなくなってしまうからです。よほど自分の意思が強くないと、必ず日本語を喋ってしまい、留学に来た意味がなくなってしまう。あとみんな同じ国の人と固まりがちです。そうしないように、なるべくいろんなアクティビティに参加することが大切です。
- ・ 授業内容はとてもアカデミックでレベルもそれなりに高く、難しかったためとてもためになり、良かったです。クラスも徐々に話すようになり、楽しかったです。しかし、課外活動はあまり充実してなかったです。特に現地の大学の友達が欲しかったら、少しの間でもクラブ活動に入ったりなど、自分から行動する、積極的になることが重要だと感じました。大学の課外活動でどこか観光地に行くなどはあまりなかったです。

● 留学生活全般について (宿舎・気候・食事・治安・交通・携帯電話・Wi-fi・保険・サポートデスクの活用・余暇の過ごし方など)

- ・ ホームステイ先のファミリーは人それぞれでした。ファミリーと一緒に放課後や休日を共にする留学生もいれば留学生にはほとんど干渉せず、料理も全ての日の夜ご飯だけ作るので朝昼は土日でも自分で家にあるもので作ったり食べたりしてくださいというファミリーもありました。僕は 1 回ホストファミリーを変えざるを得ない事情ができ、2 つのホストファミリーにお世話になりましたが、先ほど述べた 2 つのタイプのホストファミリーでした。

- ・ホストファミリーはとても良い人で、食事も治安も何の問題もありませんでした。交通手段も充実しているし、生活を送る上で支障になるものはないと思います。ただ気候は思っているより朝と夜は寒くなるので気をつけるべきだと思います。
- ・私はホストが良かったので、とても楽しく、心地よく、有意義に過ごせました。ホストの家族とも知り合えたりしたり、マーケットなどにも連れて行ってくれたので、この5週間でたくさんの現地の人と話したり関わる機会がありました。食事は日本食も買おうと思えばありましたが、ホストが作るご飯は美味しかったのであまり困りはしませんでした。治安も良かったので、一人で外に歩く分には大丈夫でしたが、夜女子一人で暗い中歩くのは大丈夫だとは思いますが、住宅地だと真っ暗の場合があるのであまり良くはないかなとは思いました。暇な時間が結構あったので、ブリスベンの中心の都会のところに買い物に行ったり、自転車も借りれたので、サイクリングしたり、マーケットも色々なところでやってたりするので学校後など暇ができたらく遊んでました。また動物園も近くにあるのでコアラやカンガルーにも触れ合うことができました。ゴールドコーストとかも近いので週末に行きました。おすすめの観光地とかは現地の人やホストなどに聞くと良いと思います。色々教えてもらえました。

●次年度の学生に伝えたいことをご記入ください

(留学先でできたこと、学んだこと、気を付けてほしいこと、準備しておくことよいことなど)

- ・次年度留学に行く学生には、留学先では何事にも自分から行動してほしいと思います。自分は現地の大学のバスケットボール部に入部しましたが、学校の授業は午前中に終わります。ほとんどの留学生は放課後自分たちの第一言語を使い元から仲の良い友達と観光やショッピングを楽しんでいました。しかしそれでは留学に行く意味がないと思います。自分も部活に入らなければ時間を持て余したり、あまり充実した時間は過ごせなかったと思います。大学には部活以外にも、たくさんのクラブ(日本でいうサークル)などがあります。留学生で留学のプログラムで留学をするとなかなか現地の大学生や大学と関わるのが難しくなります。確かに入部やサークルに入る手続きなども確かに容易ではありません。でも自分が何かをしたいという意思をホストファミリーや大学のホームページ、あるいはカウンセラーなどに質問・相談をすれば必ず分かります。その結果、留學生活も充実し、自分の英語力の向上にもなります。なので自分がしたいことを積極的に自分で行動して参加して行くことが大事だと思います。あとオーストラリアは南半球なので季節が逆になります。冬といっても日中は23-28度まで上がり、海にも入れる程度になりますが、朝晩の気温は一桁になります。その結果、日本とオーストラリアの季節の違いによる風邪や体調を崩すということよりもオーストラリアの1日の中の気温の高低差による熱など体調を崩すことが多いです。実際に私も summer session 終了の1週間前に風邪をひいて熱を出しました。なので1枚で暖かい服というよりは、薄手のものと上に羽織る服を多く持っていった方が良いと思います。
- ・本当によく考えて留学を選ぶべき。授業が午前中で終わってしまい、宿題もそんなに多くないため、自分で何か課外活動を探さないと暇を持て余してしまいます。夏は特に大学内でのアクティビティが少ないので、自分で観光したりしたい人にはオススメですが、そうでない人は他を考えた方が良くもかもしれません。
- ・とりあえず授業では英語しか勉強しません。何か特別な内容について深く勉強するというものではないので、そこでしか英語を使わないと本当に日本の英語塾に通っているのと変わりありません。ただ、ホストファミリーとたくさん話したり、違う国から来た留学生と遊んだりして学ぶことの方が多いいと思います。なので授業外での過ごし方をちゃんと考え、実行することが一番大事かと思います。
- ・ブリスベンの人々はとても温かいです。様々な人と知り合いことは重要だと思います。語学スクールだったら特にいろんな国から来た人が多いので様々な文化や価値観について知ることができます。オーストラリアは冬でも8月の中旬から後半になれば泳げたりもするので水着を念のため持って行くことをお勧めします。あと日焼け止めは冬でも日差しが強いので必要かなと思います。逆に、日本食や日本のお菓子は多少持って行っても良いですが、持って行きすぎには気をつけた方が良くと思います。荷物も行きはあまり持って行かない方が、帰りに問題なくたくさんお土産を持って帰れます。オーストラリアの物価も高いです。ジュースやペットボトル一つオーストラリアドルで2から3ドルしました。冬でも7月の下旬から8月の下旬までの間は最初の方、特に朝と夜は少し寒いので上着は必須ですが、昼間は上着あってもなくても大丈夫な感じです。セーターとかも一応持って行ったのですが、私は結局一回も着ずに終わりました。洋服は半袖の上に上着、または暑すぎないけど薄すぎない長袖などを持っていくのが良いです。冬は、コートほどでもないですが、上着一つは持って行った方がいいです。

<University of Sussex>

●授業について（授業内容・授業レベル・クラスメイト構成・課外活動など）

- ・他大学の日本人生徒が多く、友人作りには苦労しなかったが、授業のレベルは必然的に落ちた。
- ・留学先の大学は楽しかったが、日本人が多かった。
- ・授業はとてもやさしく単純で、あまり英語力上昇にはつながらなかったと思う。また、クラスメイトがほぼ日本人で、寮のフラットメイトも全員早稲田生だったため、日常生活で英語を取り扱うことが極端に少なく、不満であった。これでは、ただのイギリスへの校外学習同然である。
- ・授業内容としては、午前中はボキャブラリー、午後カルチャーについての授業だった。レベルとしては、JCulPの方が明らかにレベルが高かったが、映画やゲーム、音楽などを通して日本とイギリスの比較をしながら学習することができた。クラス分けがされ、ほとんどのJCulP生が所属していたクラス（一番上のクラス）では、最初は4人の日本人のみ。次にJCulP生が一人増え、5人に。途中三週間滞在のスペイン人が一人来てくれ、5:1になり、再びJCulP生が加わり、7:1となったがスペイン人が帰国後には7人に戻り、さらに、下のクラスから2人新しく加わってくれたが、それも日本人で、結局は9人の日本人のみのクラスとなった。さらには、このクラスの日本人はJCulP生とICU生で構成されており、ICUは6週間だったため、帰国後には、JCulP生だけとなった。その後、一人のシリア人も下から来てくれたが、出席状況が乏しく、やはり、基本はJCulP生だけだった。しかし、日本人がほとんどを占めていたが故に、より深く、イギリスと日本との比較ができたと感じている。また、先生のお宅を訪問したり、クラスでアフターヌーンティーに行ったりと、課外授業も充実していた。

●留学生活全般について（宿舎・気候・食事・治安・交通・携帯電話・Wi-fi・保険・サポートデスクの活用・余暇の過ごし方など）

- ・寮での生活は他国の学生と共同を期待していたが全員日本のクラスメイトであった。
- ・寮や学校の周りのはのどか、かつ非常に清潔感があり、快適であったが、水漏れが発生した際、生徒を嘘つき呼ばわりする失礼な係員がいた。
- ・全体的に良かったです。何不自由なく過ごせました。
- ・治安は良いほうで、外も注意をすれば一人で歩けるほどであった。
- ・寮は5、6人で一つのキッチンを共有し、各々の個室がある状態だった。ここでも、JCulP生はJCulP生だけの共同キッチンで、隣もICUの日本人だったため、授業でも寮でも日本人だらけの環境ではあった。しかし、その分、生活面では基本的には問題なく過ごせた上、JCulP生、ほかの日本人との仲は掛け替えのないものになったと強く感じている。気候は到着後は晴れが続いていたが、その後は曇りが基本で雨も降ることが多く、折りたたみ傘は必須だった。食事は基本自炊だった上、外食も基本的には美味しくいただけました。早朝と深夜の治安こそは少しばかり悪かったものの、日中は特に穏やかで、過ごしやすかった。一応、そのような危ない時間には一人で出歩くのを控えたり、団体で移動するようには心がけていた。ロンドン市内ではやはり警戒する部分は多かったが、大学付近は問題なかった。
- ・電車が時々ボイコットされ、来ないこともあったが、基本的にはバスを含め時間通りに運行していた。大学よりSIMカードの購入が義務付けられていたが、私自身は一度も使用することなく8週間で過ごすことができた。寮では大学のWiFiがあり、出かける時にはマップを調べていき、時には無料WiFiのあるお店に入ることによって、問題なく過ごせた。土日や授業後にはみんなと遠出したりして楽しむことができた。

●次年度の学生に伝えたいことをご記入ください

（留学先でできたこと、学んだこと、気を付けてほしいこと、準備しておくことよいことなど）

- ・留学先によっては考えられないほど日本人が多いプログラムに当たるので、留学先選びは情報を集め慎重に行った方がよい。
- ・短期留学は思っているより短いので、ちゃんと目標を持って行くべきだと感じた。積極的に留学生と交流しないと海外の友達はできにくい。留学は観光と違う。
- ・留学先は、日本人の少なさ、留学先の現地の人々との交流の多さで選ぶべきだと思う。
- ・今年度は何もかもが初めてで、情報も少なかったが、次年度からはおそらく希望先の大学に留学した人がいるはずなので、ぜひその人に質問したり、話を聞いたりすると思います。きっと思い出深い夏になると思います。

<個人申請 University of California, Los Angeles リスト外 専門プログラム>

(2017年度は個人申請でしたが、2018年度よりプログラムリストに加わっています)

●授業について (授業内容・授業レベル・クラスメイト構成・課外活動など)

・私は、自分で探した「UCLA Academic Courses」のプログラムに参加しました。Summer Session でありながら、普段その大学で学んでいる学生も短期間で単位が修得できるため、ほとんどが UCLA の学生またはアメリカの別の大学の学生でした。このため、授業のレベルも高く、課題などは多かったです。けれども、普段大学で学んでいる日本文化系統のこととは全くことなつたことを学ぶことができ、大変有意義な時間になりました。

●留学生活全般について (宿舎・気候・食事・治安・交通・携帯電話・Wi-fi・保険・サポートデスクの活用・余暇の過ごし方など)

・滞在中に寮に爆弾が届いたり、寮の前の道で武装強盗があったりと危険ではありましたが、日中にマナーを守り危機感を持って行動していれば、大丈夫でした。遠出する際には必ず数人かで行くことを心がけていました。

●次年度の学生に伝えたいことをご記入ください

(留学先でできたこと、学んだこと、気を付けてほしいこと、準備しておくことよいことなど)

・手続きから、渡航まで全て一人で頼れるのは、自分しかない状況で、学業面のみならず、人としても大人になれたと思います。安全面、手続きの手違いなどのリスクはたくさんありますが、お勧めします。渡航先には、ほとんど英語が第一言語の人しかおらず、JCulP の友達も日本人もいないので、その大学でたくさんの友達を作ることができました。24時間週に7日ずっと英語を話しているので、完全に英語脳になりました。短い留学期間で自分をチャレンジし、さらに最大限に成長したいという方には絶対お勧めします。

<個人申請 University of Sussex リスト外 専門プログラム

International Summer School: <http://www.sussex.ac.uk/iss/index> >

●授業について (授業内容・授業レベル・クラスメイト構成・課外活動など)

・私のプログラムは2/3がアメリカ人でアジア人はほぼいませんでした。session 1ではイギリス文化のことについて学び、session 2では心理学を学びました。やはり心理学は学んだことがなかったので色々苦労することもありました。全体的にはとても楽しい留学になりました。

●留学生活全般について (宿舎・気候・食事・治安・交通・携帯電話・Wi-fi・保険・サポートデスクの活用・余暇の過ごし方など)

・携帯の貸し出しはかなり役立ちました。宿泊先はとても綺麗だったのでとても良かったです。食事に関しては私はとても満足しています。

●次年度の学生に伝えたいことをご記入ください

(留学先でできたこと、学んだこと、気を付けてほしいこと、準備しておくことよいことなど)

・キッチンがあまり使いやすくはないので、電子レンジで調理できる器具を持って行くといいと思います。あと私はミュージカルが大好きなので、イギリスに行くなら絶対一回は west end で見てほしいものです。ロンドンに留学するならなおさら安いチケットが手に入りやすいので是非是非見に行ってください。

以上